

平成 27 年度 [危険体感(指)] 大阪

危険体感教育指導者育成コース

中央労働災害防止協会 大阪安全衛生教育センター

労働災害を防止する観点からの危険体感教育は、近年その重要性・有用性が見直されています。本コースは、「はさまれ・巻き込まれ災害多発への厚生労働省の緊急要請」にも対応するもので、三大災害のひとつである「はさまれ・巻き込まれ」を中心とした危険体感教育を行う指導者を育成するとともに、危険体感装置の作り方の基礎となる考え方についても研修します。また、転倒災害の対策についても研修します。

なお、ビデオや座学では得られないこれらの労働災害を擬似的に体験する危険体感教育を、移動式安全教育体感車にて実施します。

受講対象

労働安全衛生教育実施者、もしくは担当者

募集人数

20名

研修期間

2日間

受講料

47,520円(テキスト代・消費税8%を含む。)

修了証

修了者には修了証を交付します。

教科内容

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 はさまれ・巻き込まれ災害の現状と対策<ul style="list-style-type: none">・三大災害のひとつの「はさまれ・巻き込まれ」を例に、体感教育がなぜ必要か、教育の目的、実施上の留意点などについて学ぶ2 体感教育車実習(I)<ul style="list-style-type: none">・移動式体感教育車にての体感実習3 体感教育の教え方<ul style="list-style-type: none">・体感教育の実施及び指導上の留意事項について・実技教育の意義と課題について4 体感教育車実習(II)<ul style="list-style-type: none">・指導する観点で体感実習を行う方法を実習にて学ぶ | <ol style="list-style-type: none">5 体感教育と保護具<ul style="list-style-type: none">・危険な作業における保護具について学ぶ6 転倒災害の現状と対策<ul style="list-style-type: none">・転倒災害の現状と対策をを学び、関係する災害事例をグループ討議により対策を深掘する7 行動災害の工学的対策事例<ul style="list-style-type: none">・建物等の設備改善による具体的な行動災害防止対策を学ぶ・設備設計時の留意事項等を事例にて学ぶ8 安全配慮義務<ul style="list-style-type: none">・行動災害に関連して、事業者責任としての安全配慮義務について学ぶ |
|--|--|

開講日程

第1回	平成 27 年 6 月 23 日 (火)	～	6 月 24 日 (水)
第2回	平成 27 年 10 月 14 日 (水)	～	10 月 15 日 (木)
第3回	平成 27 年 12 月 1 日 (火)	～	12 月 2 日 (水)